

震度6強 3連動地震想定

府100機関1300人訓練

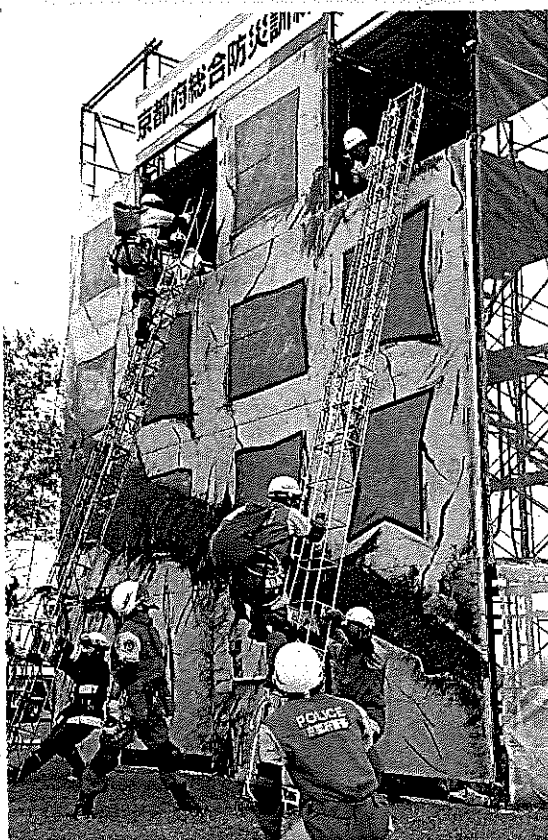
マグニチュード9、震度6強の大地震を想定した府の総合防災訓練が2日、大山崎町の淀川河川公園などであった。警察や消防、自衛隊など100機関

マクニチュード9、震度6強の大地震を想定した府の総合防災訓練が2日、大山崎町の淀川河川公園などであった。警察や消防、自衛隊など100機関

関から約1300人が参加。救助の手順などを確認した。想定は、東海・東南海・南海の「3連動地震」が起きて、乙訓地域（大山崎

町、向日市、長岡京市）で家屋倒壊によって死傷者が多数出たというもの。淀川河川公園では、地上から自衛隊と府警がオフロードバイクで、上空から京都市消防局が防災ヘリでそれぞれ被災状況を確認し、対策本部に連絡した。消防隊員や機動隊員は、高層建物に取り残された人の救出訓練に臨んだ。はし

ごやロープを使って4階部分にいる男性らを運び出した。救急隊員は、助け出された人のけがの軽重を見極めるトリアーシ訓練を実施。自衛隊員は症状が重い人から担架に乗せ、救護場所のテントまで運んだ。医師や看護師らは応急処置の手順や注意事項を確認した。（岡野翔）



①建物に取り残された人らをはしごを使って救助する消防隊員や機動隊員
②府知事や府警本部長らが出席し、被災状況を報告し合う災害対策本部の会議（いずれも大山崎町）



24.9.-3

産経

南海トラフと直下型地震発生想定

府が防災訓練実施

南海トラフ地震と直下型地震が同時発生した想定をもとに、府は2日、大山崎町の淀川河川公園などを会場に防災訓練を行い、関係機関や住民ら100機関約

1300人が参加した。今回は乙訓地域の向日市、長岡京市、大山崎町を対象に実施した。京都市は1日に独自で訓練を実施している。

訓練は、午前6時半、M9で、府南部で震度6強の地震が発生したという想定で実施した。府庁で対策本部会議を設置し、各部署が被災状況を報告し山田啓二知事が対応を指示した。

巨大地震備え1300人訓練

南海トラフ

大山崎で100機関 上層階被災者救出など



被災したマンションからロープなどで負傷者を救出する参加者（大山崎町の淀川河川公園で）

はしごやロープを使って救出したり、桂川の中州で立ち往生した負傷者をヘリコプターで引き上げたりしたほか、負傷者の治療の優先順位をつけるなどした。

山田知事は「巨大地震が起きても、他の自治体の支援に頼らず、できるだけ府内で自立して乗り切れるよう、連携して備えを万全にしたい」と講評した。

南海トラフなどが引き起

こす巨大地震を想定した府総合防災訓練が2日、大山崎町の淀川河川公園で行われた。東海、東南海、南海の3地震が連動すると、府内でも900人の死者が出ると見込まれており、自治体や自衛隊、医療機関など約100機関から参加した計約1300人が有事に備えた対応を確認した。

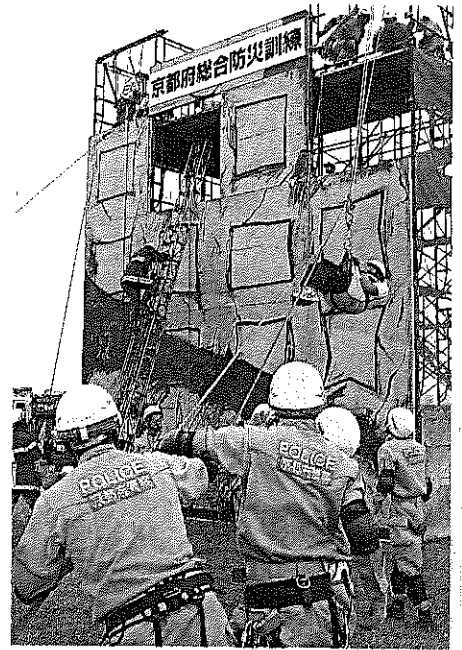
南海トラフによる東海、東南海、南海の3連動地震

と、府南部を走る光明寺・金ヶ原断層による直下型地震が同時に発生し、府南部で最大震度6強を観測した、との想定で実施。午前6時半を発生時間とする

と、約4時間で府南部だけで死者200人、負傷者480人、建物約3200棟が倒壊するとの被害を見込んだ。

訓練では、1階がつぶれたマンションの上層階に残されたと想定した被災者を

読売



倒壊したビルからロープなどで負傷者を助け出す訓練。警察や消防、自衛隊が協力して実施した（京都府大山崎町下植野・淀川河川公園）

3連動、直下型地震想定

1300人、救助連携確認

府総合訓練

東海・東南海・南海 医療機関など計約100の3連動地震と直下型地震が同時に発生した場合を想定した京都府総合防災訓練が2日、大山崎町下植野の淀川河川公園で行われた。消防や警察、自衛隊、

強、府南部の広い範囲で震度5強以上の揺れがあり、家屋の倒壊や火災が相次いだと想定して行われた。4階建ての倒壊したビルから負傷者を救出

する訓練では、消防、警察、自衛隊が協力した。負傷者をビルからロープで降ろし、がれきを撤去して助け出して搬送していった。川の中州に取り残された人をヘリコプターで救助したり、医療関係者が搬送された負傷者を救護にあたるなど、あらゆる被害を想定して取り組んだ。

訓練終了間近には、災害発生後4時間段階の被害想定として、死者200人、負傷者480人に達し、建物は3200棟が倒壊し、23件から出火—との報告があった。

舞鶴市の京都舞鶴港でも、自衛隊や海上保

安庁が船舶から救援物資を陸揚げして福知山市まで輸送する訓練を実施した。（峰政博）

